

内閣総理大臣 安倍晋三様
経済産業大臣 世耕弘成様
関西電力社長 岩根茂樹様

関西電力大飯原発 3 号機の再稼働に強く抗議し、
ただちに停止させることを求める

2018 年 3 月 16 日
新日本婦人の会
笠井貴美代

関西電力は 14 日、大飯原発 3 号機の再稼動を強行しました。
東京電力福島第一原発の事故原因も解明されておらず、収束もしていないなか、
大飯原発 3 号機を再稼動させる政府と関西電力の姿勢は許されません。

大飯原発 3、4 号機の再稼動をめぐっては、名古屋高裁金沢支部で係争中で
あり、この控訴審のなかで元原子力規制委員会委員長代理を務めた地震学者は、
大飯原発の耐震性で、想定すべき最大の揺れ（基準地震動）が「過小評価され
ている恐れがある」と証言しました。控訴審の結論も出ていないなか、再稼働
を強行するのは、司法をも軽視するものです。

また、政府と関西電力は福井県とおおい町の「立地自治体の同意」があれば
再稼働できるとしていますが、大飯原発から半径 30 キロ圏内だけでも 15 万
9000 人が暮らし、県内の他の自治体や隣接する京都府、滋賀県は再稼働に
同意していません。

大飯原発は、昨年再稼働した高浜原発 3、4 号機から 10 数キロしか離れて
おらず、地震や津波によって複数の原発が事故を起せば、その被害の甚大さは
計り知れません。しかし複数の原発が事故を起したことを想定した避難計画も
なく、住民の命を軽視するもので、再稼働は到底許されません。

原発の使用済み核燃料の処分方法確立のめどもまったく立っていません。再
稼働すれば核燃料廃棄物貯蔵プールも 6 年で満杯となります。そうしたなかで
原発を再稼働させることは無責任のきわみです。

政府は大飯原発 3 号機をただちに停止し、「原発ゼロ」の決断で、再生可能エ
ネルギーへ政策転換することを強く求めます。